

第60回理事会・第28回社員総会 議決

令和8年度

事業計画書

令和8年4月1日から

令和9年3月31日まで

公益社団法人 北之台雅楽アンサンブル

【基本方針】

- (1) 公益目的事業Ⅰ—国内雅楽演奏会等の開催
- (2) 公益目的事業Ⅱ—海外雅楽公演等の開催
- (3) 公益目的事業Ⅲ—教育機関等における雅楽紹介
- (4) 公益目的事業共通—公益目的事業Ⅰ、Ⅱ、Ⅲに共通する内容
- (5) 管理・広報部門の充実（法人活動）

【具体的事業】

1. 公益目的事業Ⅰ—国内雅楽演奏会等の開催

① 国内雅楽演奏会

【事業名1：地域における雅楽の振興】

- a. 事業の名称「天神社おたち祭 雅楽奉納」
- b. 事業の趣旨：地域の催しに参加し、地元における雅楽の振興を一層深める機会を増やすとともに、より多くの方々に雅楽に親しんでいただくことを趣旨とする。例年実施されている地元・長者天神社のおたち祭において、雅楽を奉納する。
- c. 日 時：令和8年10月31日（金）
- d. 場 所：いすみ市長者天神社境内
- e. 対 象：一般 各150名 x2回 計300名
- f. 入場料：無料
- g. 内 容：雅楽演奏（管絃、舞楽 演奏時間30分 演奏2回）
- a. 出向人員：楽人9名、舞人1名、スタッフ3名 計13名
- h. 主 催：いすみ市長者町地域商工会

【事業名2：台湾国楽団との協演による雅楽国際交流公演】

- a. 事業名称：台湾国楽団との協演による雅楽国際文化交流—音楽の出会い：アジア伝統音楽の源流をたどる—
- b. 事業の趣旨：本事業は、日本の伝統音楽である雅楽と、台湾を代表する国楽団との協演を通じて、東アジア伝統音楽の共通性と多様性を紹介し、文化芸術に対する理解を図ることを目的とする。
特に、本公演では、その雅楽を台湾国楽と比較・協演することにより、アジア伝統音楽の源流や歴史的背景を、演奏と解説を通して体感的に理解できる機会を提供する。
また、専門的な演奏に加え、わかりやすい解説や視覚的演出を取り入

れることで、年齢や専門知識の有無を問わず幅広い市民が親しめる公演とし、地域における文化芸術の裾野拡大および国際文化交流の推進に寄与することを目指す。

- c. 日 時：令和8年9月11日（金）、12日（土）
- d. 場 所：千葉市文化センター・アートホール（500名収容）
- e. 対 象：一般 各500名 x2回 計1,000名
- f. 入場料：前売り3,000円、当日3,500円、学生1,500円
二日通し券：前売り5,000円、当日6,000円、学生2,000円
- g. 内 容：
 - 1) 一日目（9/11）：
開演18：30、終了20：30
テーマ：四季の彩り
台湾国楽団単独公演（二部構成）
 - 2) 二日目（9/12）：
開演14：30、終了16：30
テーマ：雅楽との対話
第一部 楽器紹介、
管絃「平調音取」「越殿楽」「陪臚」「五常楽急」
※台湾国楽団編曲による雅楽とのコラボ
第二部 舞楽「春庭花」、右方「抜頭」
- b. 出向人員：
 - 1) 一日目（9/11）：スタッフ18名、通訳2名 計20名
 - 2) 二日目（9/12）：楽人16名、舞人5名、衣紋師2名、
スタッフ9名、通訳4名 計36名
 - 3) 台湾国楽団レクチャー随行（9/10）：スタッフ2名、通訳2名
 - 4) 台湾国楽団送迎随行（9/9、9/13）：スタッフ1名、通訳1名
- h. 主 催：公益社団法人北之台雅楽アンサンブル
台湾国立伝統芸術センター
- i. 共 催：公益財団法人千葉市文化振興財団
- j. 補助金：千葉市芸術文化振興事業補助金交付事業（申請中）
- k. 後 援：（以下予定）駐日台北経済文化代表処・台湾文化センター、
千葉県、千葉市、いすみ市、千葉日報社、千葉テレビ

【事業名3：世界文化社「和」の企画（雅楽）】

- a. 事業の趣旨：本事業は、(株)世界文化社（『家庭画報』出版元）が展開する「和」をテーマとした文化企画シリーズの一環として、同社の要請を受け、日本の伝統音楽である雅楽を主題とした文化イベントを実施するものである。本事業では、その歴史的背景および文化的価値を解

説するとともに、実演を通じてその魅力を伝え、日本文化への理解促進と伝統芸術の継承に寄与することを目的とする。

- b. 日 時：7月4日（土）もしくは5日（日）昼夜二回
- c. 場 所：銀座サファイアラウンジ（銀座ティファニービル最上階）
- d. 対 象：家庭画報読者を始め、一般向けに参加応募する。
- e. 入場料：未定
- f. 内 容：雅楽の解説・実演と参加者との対話。
- g. 所要時間：50分
- h. 演 目：管絃「黄鐘調音取」「越殿楽」「拾翠楽」、国風歌舞「五節の舞」
- c. 出向人員：神楽笛、箏、和琴、歌 各1名、舞人2名、衣紋師2名、
スタッフ2名 計10名
- i. 主 催：㈱世界文化社

② 雅楽に関する講演会

【事業名1：ブラジル実業家一行・日本文化セミナー（雅楽と香道）】

- a. 事業の趣旨：本事業は、ブラジルの実業家一行の来日に際し、日本文化セミナーとして、日本の伝統芸術である雅楽および香道を紹介するものである。参加者は日本文化に対する関心が高く、本セミナーでは、雅楽と香道の歴史的背景や精神性を解説するとともに、実演および体験を通じてその魅力を伝えることにより、日本文化への理解を一層深め、国際的な文化交流の促進に寄与することを目的とする。
- b. 日 時：
 - 1) 第一グループ 令和8年5月30日（土）14時～16時
 - 2) 第二グループ 令和8年6月20日（土）14時～16時
- c. 場 所：HOTEL 花樹海・研修室（高松市）
- d. 対 象：ブラジル実業家 各グループ24名 x2回 計48名
- e. テーマ：「淡交」とする。雅楽の音色とともに香道の香りを体験。波の閑な瀬戸内海に面した高松にて、朝風の海のごとく世界の安寧の祈った浦安の舞を披露。
- f. 内 容：舞楽「浦安の舞」演奏、香道体験、質疑応答
- g. 出向人員：志野流香道指導者1名、楽人（龍笛、楽箏、歌）3名、舞人1名 計5名
- h. 主 催：ブラジル実業家一行・日本文化セミナー（引率責任者：アド・イゲンス博士・実存分析世界連盟会長）

【事業名2：東京大学・日本文化を学ぶ会（雅楽）】

- a. 事業の趣旨：本事業は、「第17回 雅楽と国際文化交流」における安

田講堂公演ならびに駒場キャンパスで実施した「雅楽のからくり」関連企画を契機として、東京大学において雅楽への関心が高まる中、同大学より要請を受けて実施するものである。本企画では、東京大学の研究者および学生を対象に、雅楽の音楽性や歴史的背景、その魅力を紹介し、レクチャーおよび実演を通じて日本の伝統文化への理解を深めるとともに、次世代への文化継承につなげていくことを目的とする。

- b. 日 時：平日 18 時半～（時期未定）
- c. 場 所：東京大学駒場キャンパス食堂コマニ
- d. 対 象：東大生、研究者、一般 約 30 名、入場無料
- e. 内 容：少人数による雅楽紹介および質疑応答
- f. 出向人員：笙・箏・龍笛各 1 名、スタッフ 2 名 計 5 名
- g. 主 催：東京大学駒場キャンパス食堂コマニ（窓口：岸利治東京大学副学長）

2. 公益目的事業Ⅱ—海外雅楽公演等の開催

① 海外雅楽公演及びそれに伴う事業

【事業名 1：2026 ボストン日本祭り舞楽演奏】

- a. 事業の趣旨：「ボストン日本祭り」は、現地の日系企業および邦人団体で構成されるボストン日本祭り実行委員会が主催する、日本文化を紹介するイベントである。本事業は、雅楽を通して日米両国の相互理解と友好親善に貢献することを目的とする。

又、アムハースト大学音楽部において学生を対象に雅楽紹介を実施する。ボストンおよびアムハーストは学術・文化都市として象徴的な都市であり、雅楽の紹介・普及は、単なる文化イベントにとどまらず、相互理解を基盤とした長期的な信頼関係の醸成に寄与する。併せて、ハーバード大学ライシャワー日本研究所との交流の機会を設け、日米間の文化交流のさらなる発展を目指す。

- a. 渡航期間：令和 8 年 4 月 23 日～29 日（5 泊 7 日、演奏日 4/25）
- b. 渡航先：米国ボストン
- c. 渡航人数：2 名
- d. 内 容：
 - ① 4/25 ボストン日本祭り/場所：ボストンコモン公園（一般 400 名参加）/舞楽演奏（音源 CD）/受入れ機関：ボストン日本祭り実行委員会、サンボー 5 財団
 - ② 4/26 ライシャワー研究所とのミーティング（2027 年度米国大

学雅楽イベント企画について)

- ③ 4/27 アムハースト大学音楽部雅楽紹介/場所：大学教室（対象学生 40 名）/雅楽ワークショップ（担当：ジェファー・エンゲルハート教授 音楽と宗教/エストニア研究のご専門）

【事業名 2：2026 イタリア・ベルギー雅楽公演－継承と融合－】

- a. 事業の趣旨：本事業は、日本とイタリア、ベルギーとの外交関係樹立 160 周年を記念し、日本の伝統芸術である雅楽を通して、両国間の友好親善および相互理解の促進を図るものである。テーマを「継承と融合」とし、千五百年にわたり受け継がれてきた雅楽の文化的価値を紹介することで、文化遺産の継承に寄与するとともに、異文化間の国際文化交流の深化を通じて、世界と人類のさらなる融合、安寧および繁栄への願いを込めた祝典とすることを趣旨とする。尚、本事業に併せ、天正遣欧少年使節団ローマ法王謁見 440 周年（2025 年）を記念し、バチカン市国および、ゆかりのあるポルトガルにおいて雅楽紹介を検討する。また、助成金認定不可の場合には、本事業は派遣人数を減少して実施することとする。
- b. 渡航期間：令和 8 年 11 月 10 日～25 日（14 泊 16 日）
- c. 渡航先：イタリア（バチカン市国、ローマ、ボローニャ、ベネチア）、ベルギー（ブリュッセル、ルーヴェン）、ポルトガル（リスボン）
※バチカン市国およびポルトガルは調整中。
- d. 渡航人数：13 名（10 名ブリュッセルより帰国、3 名ポルトガル渡航）
- e. 公演日・会場・現地主催および後援団体：
- 1) 11/11：バチカン市国内施設/バチカン市国主催/在バチカン日本国大使館後援（申請中）
 - 2) 11/12：ローマ日本文化会館/ローマ日本文化会館主催/在イタリア日本国大使館後援
 - 3) 11/14：サンフィリポネリ劇場/ボローニャ大学文学部および芸術学部主催/在ミラノ日本国総領事館後援
 - 4) 11/16：サンタマルゲリータ講堂/ベネチア大学アジア北アフリカ研究学部主催/在ミラノ日本国総領事館後援
 - 5) 11/18：グロートオーラ講堂/ルーヴェンカトリック大学主催/在ベルギー日本国大使館後援
 - 6) 11/19：フォンテーヌ講堂/ブリュッセル自由大学言語文学部主催/在ベルギー日本国大使館共催
 - 7) 11/22：サン・ロッセ教会（候補）/サンタ・カサ・ダ・ミゼリコルディア主催/在ポルトガル日本大使館後援（調整中）
- f. 内 容：二部構成で 110 分（休憩 20 分含む）の公演とする。雅楽の

3つのジャンル（管絃、舞楽、歌謡）を紹介する。

【第一部】

- ④ レクチャー20分：各大学の日本学あるいは音楽研究者による雅楽解説をし、参加者の理解を促す。
- ⑤ 和琴独奏：「菅搔一段」日本の古代より伝わる最古の楽器（簡素で素朴な音色）による開演
- ⑥ 楽器紹介：三管両絃三鼓の各楽器を紹介
- ⑦ 管絃：「平調音取」「越殿楽」「陪臚」及び歌謡：催馬楽「更衣」を演奏。

【第二部】

- ⑧ 舞楽「萬歳楽」7世紀の中国より伝わり、天皇即位の大礼で舞われる祝賀の舞。襲装束着用、男性二名による舞い。
- ⑨ 国風歌舞「浦安の舞」昭和天皇御製に、楽器伴奏で舞う女性（十二単装束着用）一人の舞。世界平和と人々の幸福を願う160周年に相応しい舞い。

g. 対象者・入場料：一般、学生 入場料無料

h. 助成申請：(以下予定) 国際交流基金、万博記念基金、東芝国際財団、野村財団

② 海外の教育機関において実施する雅楽演奏会、日本文化体験教室

対象事業はない。

3. 公益目的事業Ⅲ—教育機関等における雅楽紹介

① 雅楽演奏会

対象事業はない。

② 雅楽体験教室

【事業名1：伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業 千葉県庁委託事業】

a. 事業の趣旨：本事業は、千葉県環境生活部スポーツ・文化局文化振興課が策定した「伝統芸能・洋楽～ふれあい体験事業」実施要項に基づいて実施している。千葉県内の小・中学校の児童生徒を対象に、邦楽への理解を深めるとともに、伝統的な音楽文化に親しんでもらい、その普及と振興、さらには邦楽の次世代の担い手育成につながることを目的とする。

b. 日 時：令和8年9月より令和9年2月

- c. 場 所：千葉県内小中学校 8 校（千葉県教育委員会推薦）
- d. 内 容：管絃と舞楽演奏および舞楽の体験教室
- e. 出向人員：楽人 11 名、舞人 4 名、スタッフ 4 名 計 19 名

③ 雅楽研修会

【事業名 1：東京大学雅楽部・講習会】

- a. 事業の趣旨：本講習会では、大学生を中心とする若年層に対し、雅楽の基礎的な演奏技術や音楽的理解を体系的に指導することで、次世代の担い手となる人材の育成を図るとともに、我が国の貴重な無形文化である雅楽の継承と普及に寄与することを目的とする。
また、本事業を学生団体への育成支援事業のモデルとして、大学という開かれた学術・教育の場において継続的に実施することにより、広く社会に対して日本の伝統文化への理解と関心を喚起する公益的事業として位置づける。
- b. 日 時：令和 8 年 4 月より 毎月 1～2 回の楽器練習。
- c. 場 所：東京大学駒場キャンパス施設
- d. 内 容：三管（笙、箏、龍笛）の習得及び発表会
- e. 参加対象：東京大学雅楽部登録部員（東大教職員含む）および、都内近郊の大学生
- f. 参加費：講習会の参加については無償とする。楽器、楽譜等必要経費は各参加者の自己負担とする。練習場は参加学生が駒場キャンパス施設を手配する。
- g. 出向人員：楽人 3 名（三管各 1 名）

4. 公益目的事業共通

- ① 装束及び楽器の補充・修繕
- ② 雅楽演奏者ならびに装束師の育成を目的とした練習会および衣紋講習会の実施

5. 管理・広報部門の充実（法人活動）

① 広報活動

- a. Web、情報誌、パンフレット、チラシなどを活用した PR 活動の推進
- b. 賛助会員（個人会員）の募集推進
- c. 年会報（年 1 回）の作成（賛助会員配布用）

② 事務機能の充実

- a. 定款に基づく事務業務の遂行

以 上